

給湯設備に係るエネルギーの効率的利用

	項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考
(1)配管設備計画	循環配管の保温	すべての循環配管について保温仕様1又は保温仕様2を採用	20	20	すべてについて保温仕様1または2を採用	1 「循環配管」とは、給湯配管のうち行き管と還り管が組み合わされた副冠式の配管を 2 「先止まり配管」とは、給湯配管のうち行き管だけの単管式の配管をいう。 3 「一次側配管」とは、熱源と給湯用熱交換器を循環する熱媒のための配管をいう。 4 「保温仕様1」とは、管径が40mm未満の配管にあっては、保温厚が30mm以上、管径が40mm以上かつ125mm未満の配管にあっては、保温厚が40mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が50mm以上とした仕様をいう。 5 「保温仕様2」とは、管径が50mm未満の配管にあっては、保温厚が20mm以上、管径が50mm以上かつ125mm未満の配管にあっては、保温厚が25mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が30mm以上とした仕様をいう。 6 「保温仕様3」とは、管径が125mm未満の配管にあっては、保温厚が20mm以上、管径が125mm以上の配管にあっては、保温厚が25mm以上とした仕様をいう。 7 「保温材」とは、熱伝導率(単位 1m1度につきW)が0.044以下の材料をいう。
		すべての循環配管について保温仕様1、保温仕様2又は保温仕様3を採用	10			
		上記に掲げるもの以外	0			
	一次側配管の保温	一次側配管に保温仕様1又は保温仕様2を採用	4	4	すべてについて保温仕様1または2を採用	
		一次側配管に保温仕様1、保温仕様2又は保温仕様3を採用	2			
		上記に掲げるもの以外	0			
	バルブ及びフランジの保温	循環配管もしくは一次側配管に設けるバルブ及びフランジに保温仕様3を採用	2	2	循環配管及び一次側配管のバルブ及びフランジに保温仕様3を採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
	循環配管及び一次側配管の経路及び管径	すべてについて経路を最短化、かつ、管径を最小化	2	2	経路の最短化、管径の最小化を図っている	
		上記に掲げるもの以外	0			
	先止まり配管の経路及び管径	すべてについて経路を最短化、かつ、管径を最小化	1	1	経路の最短化、管径の最小化を図っている	
		上記に掲げるもの以外	0			
(2)給湯設備の制御の方法	循環ポンプの制御方法	給湯負荷に応じた流量制御、台数制御又は発停制御などの制御方式を採用	2	0	その他の制御を採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
	共用部の洗面所給水栓の制御の方法	共用部の洗面所の水栓に自動水栓を採用	2	0	自動給水栓は利用していない	
		上記に掲げるもの以外	0			
	シャワー制御の方法	節水型の自動温度調整器付きシャワーを採用	5	0	シャワーの利用なし、もしくは節水型の自動温度調整器付きシャワー以外のシャワーを採用	
		上記に掲げるもの以外	0			
(3)熱源機器の効率	熱源機器を潜熱回収型給気器もしくはヒートポンプ式給湯器を採用している	10	0	潜熱回収型給湯器もしくはヒートポンプ給湯器を採用していない		
	上記に掲げるもの以外	0				
(4)太陽熱を熱源として利用した場合	太陽熱を熱源として利用した場合	10	0	太陽熱は利用しない		
	上記に掲げるもの以外	0				
(5)給水を予熱した場合	給水を予熱した場合	5	0	給水の予熱は行なわない		
	上記に掲げるもの以外	0				
ポイント(点数の合計)			(A)	29		
補正点			(B)	80		
ポイント(A)+(B)				109		